

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【久米小学校】

<第5学年：伝統を受け継ごう～久米の赤米栽培～>

5年生は、15年前から総合的な学習の時間に、古代米の赤米栽培に取り組んでいる。地域の方々と一緒に、もみまき、田植え、稲刈りをし、収穫を祝う集会をするのが、本校と久米地区にとっての伝統になっている。赤米栽培の体験活動に合わせて、赤米に関してもっと知りたいことや疑問に思ったことなどを調べる学習にも取り組んだ。収穫した赤米は、久米地区文化祭で地域の方に販売したり、家庭科の実習で調理したりした。また、給食で全校に提供した。収穫した赤米の一部は保存しておき、次年度の種もみとして活用する。子どもたちは、自分たちで種もみから育てて収穫することで、食物を育てることの苦労や尊さ、それに携わる人の思いを感じ取ることができた。また、伝統の赤米栽培を誇りに思っ受継ぎ、ふるさとである久米地区を大切に思う気持ちも育まれた。



<第4学年：守ろう!自分の命と久米の町>

4年生は、総合的な学習の時間に、久米地区の防災について学習した。はじめに、地域の防災士と一緒に、防災の視点で校区を探検した。校区の危険箇所や避難場所、防災設備などを確認し、久米の町への被害について考



えた。次に、一般企業や大学、市民防災安全課、消防署などから広く専門家を招き、防災教室を開催した。想定されている校区の被害を知ったり、避難行動をシミュレーションしたりした。また、避難生活の体験もした。子どもたちは、防災に携わる人々の思いに直接触れ、災害と想定される被害、そのための防災を自分事として捉えることができた。そして、これらの学習で学んだことを新聞にまとめたり、テーマを決めて小グループで発表したりして、伝え合った。作成したマイタイムラインをランドセルに携帯したり、家族と防災について話し合ったりするなど、子どもの防災意識を高めることができた。

また、避難生活の体験もした。子どもたちは、防災に携わる人々の思いに直接触れ、災害と想定される被害、そのための防災を自分事として捉えることができた。そして、これらの学習で学んだことを新聞にまとめたり、テーマを決めて小グループで発表したりして、伝え合った。作成したマイタイムラインをランドセルに携帯したり、家族と防災について話し合ったりするなど、子どもの防災意識を高めることができた。